

伸びゆく北小っ子

遠野北小学校研究部

I 遠野北小学校平成21年度学力向上対策として次の点に取り組んでいます

- 1 授業・・・習熟の程度に応じた指導、TT（ティームティーチング）、
- 2 ひまわり学習（朝学習）・・・読書、漢字、計算、ひまわりテスト
- 3 家庭学習・・・家庭での計画的学習

II 習熟度に応じた指導とはこんな指導法です

1 どうして習熟度に応じた指導を取り入れたのでしょうか？

学校では一人一人の子どもに確かな学力をつけたいと願って授業に取り組んでいます。しかし、本校は、1学級の子どもの人数が40人近く、個人差も大きいところから一斉指導では一人一人に確かな学力をつけることが困難であるという問題がありました。そこで、習熟の程度に応じた指導を取り入れることにしました。習熟の程度に応じた指導は、一斉指導の課題を改善するための方法として県内外で多くの学校が取り組んでいる方法です。本校では平成13年度から、継続して実施しています。

2 習熟の程度に応じた指導とはどんな意味でしょうか？

「習熟」という言葉は「慣れて十分にできること」という意味です。「習熟の程度に応じる」ということは、ある単元について学習するときにそれを学習するために必要な前学年までの学習の定着の度合いを把握し、子どもの状況によってグループ編成を行い、それぞれのタイプに応じた指導をするものです。どのコースでも子ども達がわかりやすいように指導の工夫をしています。

3 習熟の程度に応じた指導はどのように行われるのでしょうか？

(1) 習熟の程度に応じた指導の手順（単元ごと）

児童の実態把握・・・レディネステスト（児童の実態を把握するためのテスト）・プレテスト（学習する単元の事前に行うテスト）を学級で実施します。

コースの選択・・・3段階のコースから児童がレディネステスト・プレテストの結果を参考にして**自分で選択**します。（単元の最初は、学級でやってそれからコースに分かれることもあります。）

コース別の指導・・・学年をばらして**ばっちり・しっかり・チャレンジコース**に分かれて学習します。（学年の教師＋少人数指導教師）より個に応じた指導ができるように4クラスに分かれますが、工事の関係で今は3クラスです。

単元テスト・・・学級で一斉に実施します。

(2) コースの特徴

児童が選択します。 強制的な能力別編成ではありません。

ばっちり 図やブロックを使ったりしながら考えたい、教科書問題をばっちり解いていきたいというあなたにぴったり。

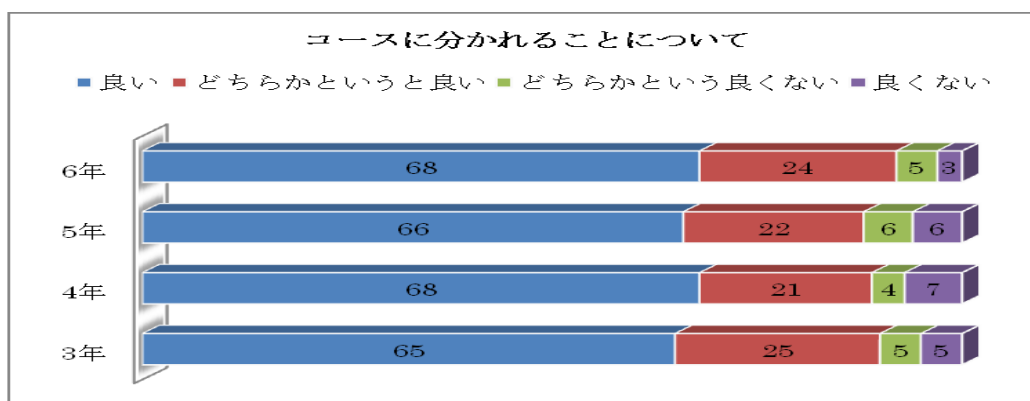
しっかり 図やブロックを使ったり、前の学習内容を使ったりして自分で考えたいあなたにぴったり。

チャレンジ 問題をもっと解いてみたい、いろいろなことにもチャレンジしてみたいというあなたにぴったり。

(3)コース別の授業の進め方

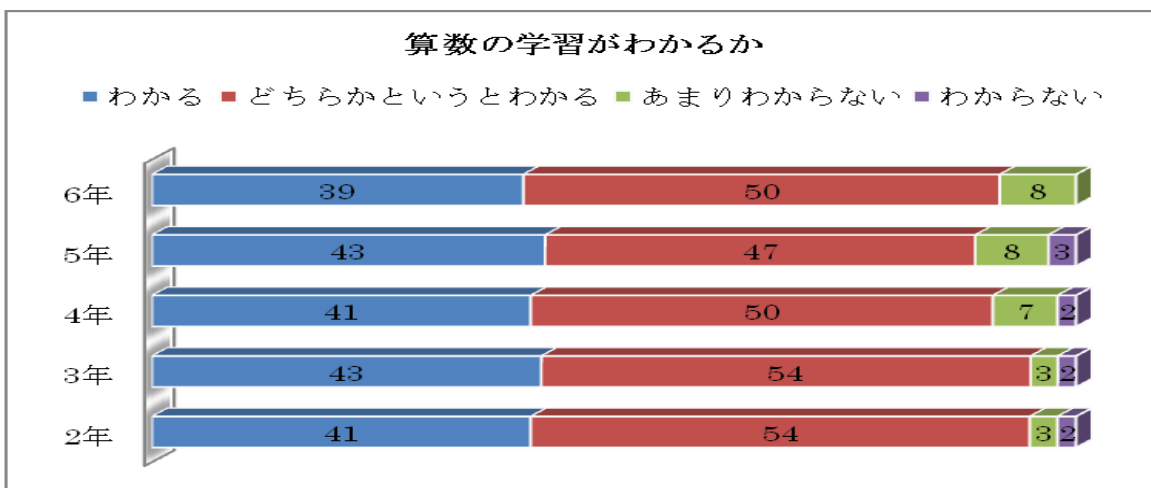
コース	めあて	授業の進め方	まとめ
ばっちり	どのコースも同じ。	復習を入れながら、図やブロック等を使い教師と一緒に進む。	どのコースでも同じ。 コース毎に練習問題の練習量が異なることがある。
しっかり		既習事項を生かし、図やブロック等を使い、教師の指導を受けながら進む。	
チャレンジ		既習事項を生かし、自分で解決方法を見つける。	

4 (1) 習熟度に応じた指導について児童はどのように感じているのでしょうか？(H20年度)



※自分のペースでできる、少ない人数で勉強した方がよくわかるという意見が大多数。

4 (2) 習熟度に応じた指導について児童はどのように感じているのでしょうか？(H20年度)



※算数の学習が分かると感じている子どもが多い。

「どの子にも分かるようにどう教えたらいいか」「考える力をどうつけるか」

を全職員で考えながら、指導しています。ご理解とご協力をお願いします。